

2025-2026年度 ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

地域奉仕・環境事業通信（第1号）

2025年10月20日 発行

①今期の事業方針と計画

②6月から9月までの事業報告

各クラブや部から送ってくださった報告書をもとに、ご紹介いたします。

あとから送っていただいても後日掲載させていただきますので、これからでもお送りください。

③TOFプロジェクトについて

国際協会で承認された今年のTOFのプロジェクトが発表されました。

TOF献金は国際送金されてTOF資金となり、毎年の国際プロジェクトに用いられます。

発行： 2025-2026 地域奉仕・環境事業主任 丹吾 礼(大阪土佐堀)

2025-2026年度の地域奉仕・環境事業について

地域奉仕・環境事業主任 丹吾礼(大阪土佐堀)

事業主題

Lets' DO A Sustainable activity

「持続可能な社会」を意識して地域社会や環境について考える

事業方針

● これまでの私たちの活動を広めるために**情報を発信し、ユース・他団体と共に**新たな地域奉仕・環境事業の活動を推奨します。

● SDGs 「持続可能な社会」はどのような社会でしょうか。地球温暖化によって、災害が増えたり、マラリア熱等の感染症の再流行が懸念されています。

・今の時代に合った災害支援や、ワイズだからできる地域奉仕があります。災害が起こってから「さあ支援」、このままでいいでしょうか。時には長期的な目線で「あなたたちを忘れていない」支援も必要です。

・**国際組織の一員**として、UGP(国際統一事業)の理解を促進します。

西日本区大会における表彰基準(適用期間:2025年7月1日～2026年3月31日)

2026年3月末までに届いた報告と
3月15日までの献金が対象です

CS献金クラブベスト10

TOF 献金クラブベスト10

FF献金クラブベスト10

RBM献金クラブベスト10

4種献金(CS・TOF・FF・RBM)オール100%達成賞

2種献金(CS・FF)オール100%達成されたクラブのうち、

地域奉仕・環境事業において顕著な取り組みをされたクラブとして優秀クラブ・最優秀クラブ
新たに**他団体**との共催で地域奉仕・環境事業を始められ、**継続した活動**を作りだしたクラブ

6・7は「事業実施報告書」を**提出された事業”のみ”**が表彰の対象になります。
パソコンで報告書を作るのは面倒、大変という意見もあります。
もちろん手書きも大歓迎です！

事業計画

1. **各部・クラブ**の地域奉仕・環境**事業**の紹介。

2. SDGsの理解を促進し、持続可能な社会に向けた活動。

「**Y's × SDGs Youth Action**」をきっかけとしたユースと協働する地域奉仕・環境事業の実施の推進。2024年度西日本区内では**3つのグループがワイズと共に活動されました。**

3. 地域行政・NPOなど**他の社会団体**との協働を促進。

4. 今の西日本区のワイズに期待されている「支援」の理解。**地震・豪雨災害**が頻発しています。**長期的な「忘れない」支援**も大切です。

5. 献金への理解と目標達成のための**情報発信**。

CS、TOF、FF、RBMの**献金を活用した事業**の紹介。

UGP(国際統一事業:)活動、国際、アジア太平洋地域のCS活動の情報。

献金目標

地域奉仕活動(CS)献金 1人あたり 1,000円

TOF(Time of Fast)献金 1人あたり 1,000円

FF(Family Fast)献金 1人あたり 300円

RBM(ロールバックマラリア)献金 1人あたり 500円

※2026年3月15日までに各クラブより西日本区事務所へ送金

報告書を作るメリットは？

- ・記録
- ・事業について他の方に説明できる。
- ・地元のメディアに取り上げられたことも他へのアピールになります！
- ・次の事業を考えると時の手掛かりに

みなさんからの献金について

献金は、簡単に言えば、良い事業をするために、ワイズメンみんなで助け合う仕組みです。

CS献金 CS資金の原資になります。

TOF献金 集められた資金の90%を国際TOF資金に送金します。

食事に困っている方々に思いを寄せましょう。東日本区のプロジェクトにも対象となっています。

FF献金 FF資金の原資になります

RBM献金 集められた資金の90%を国際RBM資金に送金します。世界中でマラリアに苦しむ方への支援に用いられます。

※資金申請をされた時の、「事業への理解・協力があるか」は、前年度までのCS・FF献金の目標達成率で判断します。

また、資金援助の必要なクラブ・部はその年の献金も100%にしてくださいお願いします。

CS献金はCS資金の原資になりますが、各クラブでのCS献金資金援助だけに使われるわけではありません！

私もクラブ会長も経験した時は気にしていませんでしたが、皆さんには少しでも気にかけていただければと思います。

地域奉仕・環境事業資金(CS資金とFF資金)

- ① クラブおよび部の地域奉仕・環境事業活動に資する事業
- ② 各部のメネット相互の親睦推進活動
ならびにメネットから提案される地域奉仕・環境事業に資する事業
- ③ ワイズが関わりYMCAが地域社会奉仕・環境事業活動に資する事業
- ④ 国際協会やアジア太平洋地域の地域奉仕・環境事業に活動に資する事業
- ⑤ ワイズおよびYMCAにかかわる天災、戦乱その他の緊急救援活動に資する事業
- ⑥ 事業委員会の認める地域奉仕・環境事業活動に資する事業
- ⑦ 自然災害緊急支援基金「NDERF」への献金(既定事業)

資金援助を申請する場合の申請方法

「Yサ・ユースならびに地域奉仕・環境事業
資金運用規則」が昨年制定され、今年から
運用しています

CS事業やFF事業で
資金援助を申請したい

クラブで前年の献金をしているか
確認しましょう

西日本区ホームページから
申請書をダウンロードして作成しましょう

運用細則をよく読んで、
1か月前までに申請書を提出してください

事業を実施！

事業が終わったら速やかに
報告書を提出してください

献金

内容

予算

わからないことがあれば
気軽にお尋ねください。

事業委員会で協議します。
質問することもあります。

事業委員会で協議します

承認された支援金が振り込まれます



JWS1	西日本区緊急災害対応規則	2019.07.01
JWS2	STEP資金運用規則	2022.04.03
JWS3	YMCAサービス・ユースならびに地域奉仕・環境事業資金運用規則	2025.07.01
JWS4	YES基金運用規則	2025.07.01
JWS5	旅費支給規則	2003.07.01
JWS6	旅費支給施行規則	2019.07.01
JWS7	西日本区スポーツファンド内規	2023.04.02
JWS8	西日本区の文庫・データ取扱い規	2024.06.07

西日本区ホームページの資料庫にあります。
一度お目通しをお願いします。



YMCA サービス・ユースならびに地域奉仕・環境 事業資金運用規則

(名称)

1. この規程は、「YMCAサービス・ユースならびに地域奉仕・環境」事業資金を総し、総称を「Yサ・ユース事業資金」とする。

(目的)

第1条 この規程は、Yサ・ユース事業資金は、国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）、YMCAサービス大賞、YMCAが実施する主
奨学、スポーツ・アスリート、奨学、ユースなどに対する活動の支援を目的とする。

第2条 この規程は、Yサ・ユース事業資金は、国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）、YMCAサービス大賞、YMCAが実施する主
奨学、スポーツ・アスリート、奨学、ユースなどに対する活動の支援を目的とする。

(運用)

第3条 この規程は、西日本区が指定されている各種奨学基金、自由献金などをもってする。

第4条 この規程は、Yサ・ユース事業資金から拠出される「国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）」および「日本YMCA国際
奨学基金」ならびに「YMCAサービス・ユース事業資金」から拠出される「自然災害緊急支援基金（以下「NDEMF」という）」は年度費金として
事業に活用される。

第5条 この規程は、Yサ・ユース事業資金は、国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）、YMCAサービス大賞、YMCAが実施する主
奨学、スポーツ・アスリート、奨学、ユースなどに対する活動の支援を目的とする。

(運用)

第6条 この規程は、Yサ・ユース事業資金は、国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）、YMCAサービス大賞、YMCAが実施する主
奨学、スポーツ・アスリート、奨学、ユースなどに対する活動の支援を目的とする。

(運用)

第7条 この規程は、Yサ・ユース事業資金は、国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）、YMCAサービス大賞、YMCAが実施する主
奨学、スポーツ・アスリート、奨学、ユースなどに対する活動の支援を目的とする。

(運用)

第8条 この規程は、Yサ・ユース事業資金は、国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）、YMCAサービス大賞、YMCAが実施する主
奨学、スポーツ・アスリート、奨学、ユースなどに対する活動の支援を目的とする。

(運用)

第9条 この規程は、Yサ・ユース事業資金は、国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）、YMCAサービス大賞、YMCAが実施する主
奨学、スポーツ・アスリート、奨学、ユースなどに対する活動の支援を目的とする。

(運用)

第10条 この規程は、Yサ・ユース事業資金は、国際アルキサンダー奨学基金（以下「ASF」という）、YMCAサービス大賞、YMCAが実施する主
奨学、スポーツ・アスリート、奨学、ユースなどに対する活動の支援を目的とする。

事業実施報告書 2025年6月

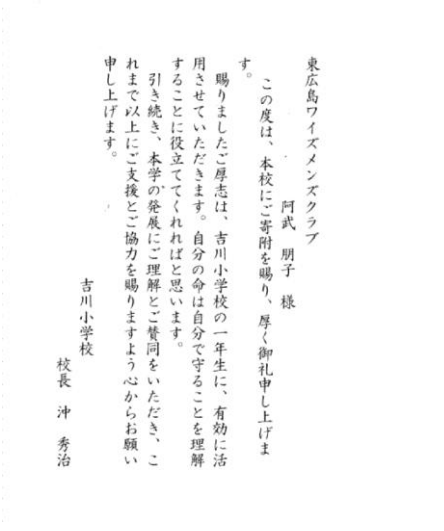
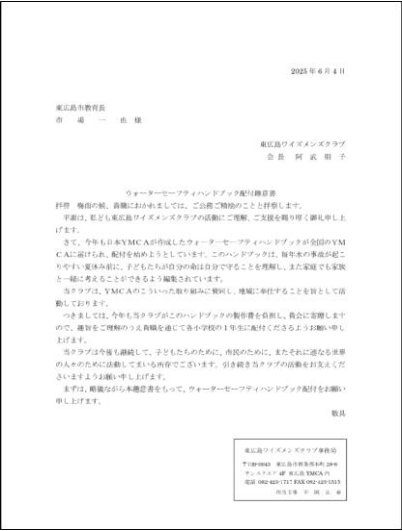
ここからは、これまでに皆さまからいただいた事業実施報告書を元にご紹介いたします。

東広島クラブ

2025/6/4 ウォーターセーフティハンドブックを東広島市教育委員会に寄贈。左から、阿武、東広島市教委指導課 西村課長



「同ハンドブックの一部ページ画像」



「教育長あて趣意書」「寄贈先小学校長からの礼状(1校のみ選択)」

事業名 ウォーターセーフティハンドブックを東広島市の全小学校1年生に無償配付

実施年月日 寄贈日 2025年6月4日(水)

寄贈者 ワイズメンバー2名(うち1名は担当主事) 実施日付は2024-2025 ワイズ年度だが、本来夏休み前の7月に寄贈を続けていたもの。このたびは、学校でのプール指導開始に合わせ市教委からの依頼により、7月でなく6月の 寄贈となったが、費用(クラブの予算)も、2025-2026ワイズ年度である。

概要・結果

- ①目的 子どもたちを水の事故から守るため日本YMCAが作成した同ハンドブックを 夏休み前の時期に、東広島市の全小学校1年生に無償配付する。
- ②意義 クラブ開設当初からの伝統的活動で、現在もクラブの活動の柱である。
- ③寄贈先 東広島市教育委員会 寄贈数ハンドブック1,800冊(全小学校1年生児童と校長数) ポスター 33 枚(全小学校数)
- ④支出 ¥52,650.- 2025-2026 年度の、十勝ワイズのじゃがいも販売のファンドで支払い。

(中国新聞2025年6月11日付け朝刊 東広島・呉ページ)



事業実施報告書 2025年6月

熊本ひがしクラブ



事業名 託麻南8町内清掃と植栽活動にかき氷を無料提供

実施年月日 2025年6月7日

実施場所 熊本市東区「まちの広場」公園

概要・結果

託麻南校区第8町内自治会の清掃活動&植栽活動の参加者にかき氷を提供しました。かき氷器を「まちの広場」公園に搬入し、仕事に行く前の竹本ワイズにバッテリーを借り電源を確保。

清掃と花植えに汗をかいた後で、大人も子どもも喜んでくれました。氷は大サイズを3個用意し、全て消費。

自治会の坂梨会長をはじめ、皆さんと交流できましたことを感謝します。



全体で55人

ワイズ9人

リーダー3人

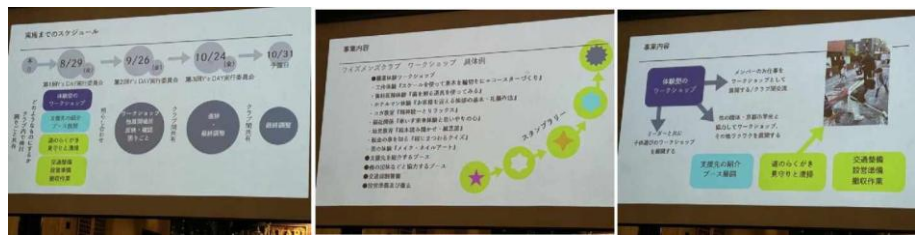
受益者 自治会42人



自治会の皆さんと

事業実施報告書 2025年7月

京都トップスクラブ



事業名 地域奉仕・環境事業、PR委員会懇談会

実施年月日 令和7年7月11日(金)

実施場所 灯-Akari-(京都市中京区烏丸六角下ル七観音町634 カラスマプラザ21 B1

概要・結果

まずは、丹吾礼 西日本区 地域奉仕・環境事業主任から今期のCS事業の方向性についての説明があり、次に渡邊えみ 京都部 地域奉仕・環境事業主査の挨拶、澤田哲平 京都部 PR委員長の挨拶がありました。

その後、京都部各クラブから1分程度のCS・PR事業の報告があり、最後に渡邊主査から、今期のワイズデーについての説明がありました。

今期のワイズデーは、京都YMCA本館前等で行われる、「三条通り遊んでみよし」という京都市も後援するイベントとの共催で、各クラブが職業体験ワークショップや、支援先紹介ブース、屋台など、参加方法を検討する運びとなりました。

二部の懇親会では、他クラブの会長様や三役さん、CS・PR委員長さんと楽しく歓談し、有意義な3時間が過ごせました。



事業実施報告書 2025年7月

京都トップスクラブ



事業名 祇園祭クリーン活動

実施年月日 令和7年7月15日(火)

実施場所 烏丸通～西洞院通、四条通～高辻通 周辺道路

概要・結果

綾小路西洞院通西入りのNIO税理士法人に18時に集合し、他クラブのメンバーさんと共にチェックインを済ませ、4人一組に分かれて該当場所の清掃活動を行いました。

夕立後であったため、多少は涼しい中でしたが、人混みの中を掻き分けゴミを拾い集めました。

祇園祭自体の人出は昨年より少し少ないかなといった印象で、ゴミを集めている時に若い方々から「ご苦労様です」や「ありがとうございます」と声かけしていただき、若い方のマナーが非常に良かった事が印象に残りました。

参加メンバー: 当日参加 3 名 当日参加 的場 y 小林郁 y 織田 y



事業実施報告書 2025年8月

京都ウエストクラブ



事業名 社会福祉法人平安徳義会夏祭り

実施年月日 2025年8月24日(日曜日)13時～

実施場所 平安徳義会内

概要・結果

平安徳義会で夏祭りを行いました万国博覧会に因み、国別対抗の催し物。各グループ分けで国の名前をつけ、ウエストでは「ゲッタチャンス」と言う国名で輪投げのアトラクション。また、凍らせたゼリーと飲み物を全員へお配りしました。

今回は熱中症対策で体育館など室内だったので盛り上がるか心配でしたが流石ウエストクラブバッチリ盛り上げて、輪投げもゼリーも好評で施設の子供たち大変喜んでました。

トラブル 怪我もなく無事終了し大成功でした。



事業実施報告書 2025年9月

東広島クラブ



ごみをたくさん集めました。
手提げ袋係メンバーが、
ずっしりと重いゴミを持ち上げ
ました。

たばこの吸い殻が多く、こんなことを
する大人にならないように、YMCAと
ワイズが子どもに知らせていかないと
いけません。



事業名 クリーン大作戦

実施年月日 2025 年9月13日(土) 10:30-11:30

実施場所 西条中央公園(東広島市西条岡町)

概要・結果

- ① 目的 東広島YMCAの近隣の公園のゴミ拾い・清掃
- ② 参加者 ワイズメンバー1名 東広島YMCAの児童15名、
東広島YMCAスタッフ3名
- ③ 支出なし クラブ備品の清掃道具を使用



事業実施報告書 2025年9月

京都ウエストクラブ



事業名 cs委員会 平安徳義会スポーツ交流

実施年月日 2025 年9月21日

実施場所 平安徳義会

概要・結果

平安徳義会でスポーツ交流をしました。

参加メンバー10名。アクトで卓球台を寄附しました。

生徒 先生 ワイズメンを混ぜて50～60名でフリスビーを使ってする、アルティメットと言うスポーツをしました。みんなでできる特別ルールで行いました。

今回もトラブル 怪我もなく大成功でした。

たくさんの笑顔や笑い声が見れました。



事業実施報告書 2025年9月

京都グローバルクラブ



事業名 嵐山渡月橋 清掃奉仕活動

実施日時 2025年 9月23日(火・祝) 10 時～13 時30 分

実施場所 嵐山渡月橋(京都市右京区)

参加者 メンバー 18 名 コメット2名 ゲスト2名 合計 22 名

概要・結果

京都グローバルクラブの今期の地域奉仕事業は、吉田会長、また細川CS事業 委員長の地元である京都市右京区を中心に活動を行なうこととし、今回はその第一弾として、有数の観光スポットである、嵐山渡月橋の清掃活動を企画、実施致しました。言うまでもなく、嵐山には内外問わず多くの観光客が訪れます。嵐山のシンボルである渡月橋を清掃することで、国内のみならず、世界に広くYMCA及びワイズ活動をアピールする良い機会と考えました。当日は京都部より、渡邊えみ地域奉仕・環境事業主査(京都キャピタル)、澤田哲平PR委員長(京都プリンス)にもご参加頂き、合計22名で活動しました。

午前10 時、いざ清掃開始！木製の橋の欄干の汚れをブラシで落とした後、雑巾で水拭きをしていきます。しかし、単純な汚れ落としと拭き掃除かと思いきや、これが意外と大変。欄干上部は、常時人の手がいっていることもあり、汚れは少ないのですが、下部の方はコケやら蜘蛛の巣やらが張りついて、ブラシでこすると、バケツの水が一瞬にして汚れてしまいます。渡月橋の欄干は155 メートル(上下流合計310 メートル)あり、当初は1 時間以内で終了する予定だったのですが、汚水の汲み替えや、次第に増えてくる観光客の合い間をぬっての作業となり、当初の予定時間をオーバーする結果となりました。しかし、乾いた橋を見るとやはり効果は絶大！薄汚れていた部分に白さが戻り、苦労して掃除をした成果が明らかに現れていました。その後は、渡月橋のたもとにある老舗旅館「花筏」にて、湯葉鍋の昼食を頂き、解散となりました。

ちなみに、当日は光栄にも京都新聞より取材を受け、翌日(24 日)の朝刊に大きく掲載されることとなりました！

TOF資金の使途 2025-26年で承認されたプロジェクトについて

TOF献金を使用する
国際プロジェクトについてです。

2025年承認12のプロジェクトに対して、総計で 124,863スイスフランが使われます。

①プロジェクト名: ポール・アレクサンダー — 新生児病棟
申請者: キトゥイ Y サービスクラブ / ケニア

TOF資金は、ケニア・キトゥイ郡ムランゴ保健センターにおける新生児病棟の建設を支援し、脆弱な農村地域における母子医療サービスを改善するために活用されます。

プロジェクト期間は6～12ヶ月。SDGs-3. に該当 (12,000スイスフラン)

②プロジェクト名: YMCA屋根修理
申請者: コロンボ・フォートYMCA &
コロンボワイズメンズクラブ / スリランカ

TOF資金は、歴史的建造物であるコロンボYMCAビルの老朽化した屋根の緊急修理を支援するために使用されます。コロンボ・フォートYMCAは歴史的建造物に所在しています。この施設は過去190年にわたり、王室所有の借地権付き土地に建てられたこの敷地を占有してきました。悪天候時、特に降雨や雷雨などが発生する期間においては、この歴史的コロンビアル建築物の老朽化を考慮すると、屋根は老朽化が進んでおり、日常活動に不必要な支障をきたしています。これには、国内の地方から来ている宿泊者、学生、研修生、若手社員、さらには長期滞在者に対する多くの不便も含まれます。

プロジェクト期間は6～12ヶ月。SDGs-7. に該当 (12,000スイスフラン)

③プロジェクト名: 貧しい人々の為の希望のオアシス学校
申請者: オーステンスタッドワイズメンズクラブ / ノルウェー

TOF資金は、学校の技術教育プログラムを支援するため、コンピューターとミシンの購入に充てられます。希望のオアシス (Oasis of Hope) は、ノルウェーの独立系NGOであり、2013年よりムティバ (ケニア) で恵まれない環境にある孤児や保護者のいない子供たちのための学校を運営しています。

プロジェクト期間は12～18ヶ月。SDGs-4. に該当 (11,920スイスフラン)

④プロジェクト名: ヴァルデニスYMCA教育・文化プログラム
申請者: ヴァルデニスワイズメンズ / アルメニア

TOF資金は、低所得世帯、ひとり親家庭、社会的弱者層の脆弱な子どもたちを対象とした代替教育・保育サービスを提供する「ヴァルデニスYMCA教育文化プログラム」を支援するために活用されます。

プロジェクト期間は6～12ヶ月。

SDGs-4. に該当 (12,000スイスフラン)

⑤プロジェクト名: 次のステップ
申請者: YMCAビトラ ユース協会 / マケドニア

TOF資金は、ビトラ近郊の農村地域における若者のエンパワーメントと長期的な成長を促進するため、体系化された非公式教育、キャリアガイダンス、および若者参加促進イニシアチブの提供を支援します。

プロジェクト期間は12～18ヶ月。SDGs-4. に該当 (12,000スイスフラン)

⑥プロジェクト名: 貧しい家族の為の救急車を
申請者: コイムバートルワイズメンズクラブ / インド

TOF資金は、コイムバートル郊外10村の地域慈善住宅介護施設入居者およびその他の社会的弱者向けの医療搬送・多目的車両として活用される新型救急車の購入に充てられます。

プロジェクト期間は3～6ヶ月。SDGs-3に該当 (5,000スイスフラン)

TOF資金の使途

2025-26年で承認されたプロジェクトについて

TOF献金を使用する
国際プロジェクトについてです。

2025年承認12のプロジェクトに対して、総計で 124,863スイスフランが使われます。

⑦プロジェクト名: 女性の生計向上支援
申請者: ブバネーシュワールYMCA &
ブバネーシュワールワイズメンズクラブ／インド

TOFの資金は、ブバネーシュワールのスラム街に住む恵まれない無技能の女性たちを対象とした訓練プログラムを支援します。家事管理スキルを身につけさせることで、彼女たちの雇用可能性を高め、自らと家族を支える力を与えます。

プロジェクト期間は12～18ヶ月。SDGs-3に該当(10,767スイスフラン)

⑧プロジェクト名: 寝たきりの人を支える
申請者: ラバータウンムンダカヤム ワイズメンズクラブ／インド

TOF資金は、インド・ケララ州の恵まれない地域における低所得の寝たきり患者に対し、無料の医療補助器具を提供する目的で使用されます。

プロジェクト期間は48ヶ月。SDGs-3に該当(12,000スイスフラン)

⑨プロジェクト名: 地域奉仕 ホスピスケアと高齢者ケア
申請者: チャヴァラワイズメンズクラブ／インド

TOF資金は、健康状態が悪化するリスクが高い人口密集地域において、ホスピスおよび高齢者医療サービスを提供する医療センターの設立に充てられます。

プロジェクト期間は6～12ヶ月。SDGs-3に該当(7,620スイスフラン)

⑩プロジェクト名: ユース活動と女性のエンパワメント
申請者: トッパンパディワイズメンズクラブ／インド

TOF基金は恒久的な訓練センターを設立し、裁縫技術やエコ製品(紙袋、ペン、キャンドル)製作技術を通じて若者と女性の自立を支援するとともに、「プラスチックにノーを」というメッセージを推進します。

プロジェクト期間は3～6ヶ月。SDGs-2に該当(10,556スイスフラン)

⑪プロジェクト名: フィリピン ホセ スマイル
申請者: 韓国地域医療サービス委員会
(ワイズメンズクラブ国際協会ドクターズ)

TOF資金は、韓国地域医療サービス委員会によるフィリピンでの医療サービス提供を支援します。

プロジェクト背景2012年、として当委員会はヤンゴンで活動を開始し、ミャンマーYMCAが緊急時の応急処置と患者搬送を担当しました。その後、YMI Doctorsはミャンマー、カンボジア、ラオス、モンゴルなど各国で10回以上実施されています。今回の地域は、フィリピン・アンティポロ市サンホセ山村の衛生状態の悪い地域です。

プロジェクト期間は36ヶ月。SDGs -3 に該当(7,000スイスフラン)

⑫プロジェクト名: 収穫を分かち合うコミュニティ農場
申請者: ローワン-キャバラスYMCA &
南ローワンYサービス他協働／アメリカ

TOF基金は、キャバラス郡全域の子どもと家族に対する飢餓の緩和を目的とする「シェア・ザ・ハーベスト・コミュニティ・ファーム(STH)」を支援するために活用されます。

プロジェクト期間は6～12ヶ月。SDGs-2 に該当(12,000スイスフラン)

時間が許す限り、例会などに足を運びたいと思っています。奮って情報を御寄せください。

クラブの例会や部の行事に参加しました

京都部 CS・PR懇談会 2025/7/11(金)

京都部さんでは、毎年期の初めに各クラブの会長さんや事業委員長さんが集まり、話し合ったりされていて、その場にお招きいただきました。

京都YMCAが位置する三条通の地域の方がゲストでスピーチをされ、三条通を盛り上げるために今やっていること、ワイズメンズクラブに期待されることをお話下さいました。

また、SNSを使った広報を始められています。京都部のInstagramには各クラブの紹介動画もアップされています。京都部PR委員長のスピーチを聞きながら京都部のInstagramをフォローしたのは内緒です。

京都部CS主査からはワイズデーの説明とワイズデーへの協力をお願いするスピーチがありました。今年はCSとPRが一体になり、京都市内の15クラブでワイズデーが行われます。

京都YMCAの場所は京都の繁華街から徒歩圏内です。秋に京都に遊びに行くなら11月9日に京都YMCAと三条通もおすすめです！「三条通で遊んでみよし！」です。

西中国部 IPRAY公演 2025/8/23(土)

今年が被爆から80年ということで広島市では大きなイベントが行われています。その一つとして、IPRAYも参加されました。IPRAY自体は広島YMCAに事務局を置く小さなNPOが開催されています。広島地域のワイズメンが主体になって活動を始められ、今年30周年を迎えられました。

普段からダンスやミュージカルを習っているこどもたちと、平和について自分も何かしたいと一般公募で参加されるこどもたちが一緒になって平和についてのメッセージを伝えようとしています。

『被爆80周年集いを考える平和の祭典 Peace Action Hiroshima』

初めての試みとして、地元の中高生が被爆証言に関わったことの発表や、上京した若者から原子爆弾の核だけでなく核実験や原子力発電等、今の学びや活動を発表されました。西中国部部会でご講演される小倉桂子様は2日目に登壇され、地元の中高生とのディスカッションをされるなど、大人と青少年が共に平和を考え伝えるイベントでした、パネル展示もされ、またどこかで展示して多くの方に知ってもらえたらいいなと思いました。

2日間開催されましたが、西日本区内の他の行事と重なり1日目のみの参加でした。広島の平和活動を垣間見ることができました。

会場で写真が撮れなかったので、平和祈念公園と街を散策中に撮った写真を紹介します。街中に被爆建物がありとても悲しい気持ちになりました。



クラブの例会や部の行事に参加しました

京都プリンスクラブ、京都グローバルクラブ、
京都ウエルクラブ 3クラブ合同・環境
アワー・ゲストスピーチ例会 2025/10/7(火)

祇園祭のお話だからいっしょい！で参加した例会です。

京都での大きなお祭りのひとつ、祇園祭。「美しい祇園祭をつくる会」で活躍されてこられた、京都大学松井三郎名誉教授より「祇園祭クリーン活動への取り組み」をお話いただきました。祇園祭では早くからイベントでのリユース食器を使ったりされていて興味はありました。

「捨てられると、ごみ。だから、捨てられる前に不要なものを「もらい集め」をしている」ことに驚きました。きっかけは銚子のすぐそばにごみの山があることに気付いたことだそうです。そこからの行動で今の祇園祭がある。

今では多い紙製のうちわも、ごみの削減の一つの取り組みだそうです。

以前は京都東陵クラブが中心に京都のワイズメンに呼びかけをされていたのが今は京都ウエルクラブが中心になって京都のワイズメンに呼び掛けて参加されているそうです。クリーン活動に参加された方の声は事業実施報告書が届いているのでそちらもご覧ください！

阪和部 大阪河内クラブ 10月例会
2025/10/8(水)

環境のお話だからもちろん来てくれるよね！？で参加した例会です。

阪和部の地域奉仕・環境事業主査の中西進泰ワイズは地元の東大阪市で環境を得意とされている方だそうです。「ごみの話はおもしろい！」というテーマでお話されました。

同じ大阪府内でもごみの集め方は違うし、大阪のごみの最終処分場の一つ、夢洲も万博ができるぐらい広大な土地が埋め立てられています。いつか埋めるところがなくなるから、今できることは最終処分場の寿命を延ばす為に、ごみを減らすこと。3R(リユース、リデュース、リユース)という方法が有効ですよと話されていました。

地域に住む方も例会に参加され、気になっているけれどなかなか聞く機会がないとのことで、ごみの捨て方の質問もされていました。



2025年10月号地域奉仕・環境事業通信 (第1号)

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。

